

1. 出発前の準備

- 留学の目的と学習計画

留学の一番の目的は、自分の価値観とは異なるところで生活をしてみたいというものでした。日本の大学には、他国から留学生が来られていますが、特に欧米諸国からの留学生は少ないと感じました。それで、自分からそのような世界に赴くことが一番手っ取り早い解決方法だと思うようになりました。

特に科目での制限がなかったので、前半のゼメスターはドイツ語の取得に重きを置き、後半はその能力を活かして何か授業をとるという計画を立てました。とにかくドイツに留学だったので、ドイツ語を取得することに、私は重きを置くことにしました。

- 入学許可申請

一年生の時から、ドイツ語プラスワンの授業を履修しており、ドイツ人の先生にお世話になっていたので、入学許可申請はスムーズにいったと思います。自分で出来るだけのことを行い、わからないところは先生に相談することができました。

- 外国語能力

- 【ドイツ語】

プラスワンを履修していたとはいえ、別に力を向けなければいけない勉強をしていたので、ドイツ語に全精力を注ぐことはできていない状況でした。それで、留学の面接を受けた時には、独検4級にしか受かっていない状況でした。先生の方から「留学に行くなら、せめて3級に受かっておくことが必要だ」と言われたので、留学前に3級に受かるようにしました。あとは、ドイツ人の先生に紹介してもらったタンデムパートナーと週に一回ドイツ語でわからないながら話していました。

- 【英語】

今となればもっとやっておけばよかったと思いますが、大学中には全く勉強していませんでした。

- ・ 留学費用（月ごとの費用）

支出		収入	
家賃	350	親からの送金	975
食費	300	奨学金	25
生活費	100		
旅費	150		
雑費	100		
合計	1000	合計	1000

（ユーロ）

- ・ 奨学金

明治大学の“明治大学学生外国留学奨励助成金”に申請をしました。詳しくは <http://www.meiji.ac.jp/cip/support2/jyosei.html> を参照してください。

私は利用していませんが、外務省が発表している留学のための奨学金一覧があるので、このサイトを参考にするとよいかもしれません。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/hito/ryu/ryuugakuannai/sc_holarship.html

- ・ 健康保険・旅行保険

事務室のほうから紹介された保険と契約をしました。日本で契約する場合は、必ず英文契約書を持参してください。留学先のガイダンスの際に、提示するように言われます。その時に留学期間中の保証が満たされているかを確認されるので、しっかりと伝えられるようにしておいてください。そのことが不明瞭であると、一旦契約書を書かされ、後から3ヶ月以内に契約を解除しなければならない場合があります。

安全性からすると日本で契約する方が望ましいですが、現地で契約することも可能です。AOK (www.aok.de/)やTK (www.tk.de/) などがあります。

- ・ ビザ

ドイツの場合、現地に行ってから手続きをすることになります。

Einwohnermeldeamt に行って、まずは住民登録をします。

Einwohnermeldeamt は **Bremen University** の中 (**Zentralbereich 28359 Bremen**)、もしくは中心街 (**Pelzerstr. 40 28195 Bremen**) にあります。

その後、ビザを申請します。必要書類についてはドイツ大使館の HP を参照してください。

(<http://m.japan.diplo.de/Vertretung/japan/ja/03-konsular-und-visainformationen/031-visa/Studium.html>) ビザを申請する際には、申請をする人数を制限されることがあるので、受付時間より一時間程度前に行っておいたほうがその日に申請することが可能です。申請ができた後は一ヶ月程度の期間をおいて、**Email** を通して連絡が来るので、また同じ場所に行き、ビザを受け取ることができます。

2. 宿舎と日常生活

- ・ 宿舎

* **Galileo Residenz** (www.galileoresidenz.de/en/home/)

【住所】 **Fahrenheit str. 19-25 28359 Bremen**

【駅】 **Universität/Zentralbereich**

【連絡先】 <http://www.galileoresidenz.de/en/kontakt0/>

【費用】 **350 ユーロ** (バルコニー付)、**360 ユーロ** (バルコニー無)

【特徴】 値段の割に部屋が綺麗

家具、食器付き

インターネット完備

光熱費込み

WG

* The Fizz (www.the-fizz.com)

【住所】 Universitätallee 1 28359 Bremen

【駅】 Universität/NW1

【連絡先】 www.the-fizz.com/infoportal/mietanfrage.html

【費用】 平均 450 ユーロ

【特徴】 光熱費込み

今年できたばかりで新しい

キッチン用品は自分でそろえる

インターネット完備

1 人部屋

* Campus Viva (<http://www.campusviva.de>)

【住所】 Mary-Astell-Str. 19 28359 Bremen

【駅】 Berufsbildungswerk

【連絡先】 <http://www.campusviva.de/kontakt/index.html>

【費用】 500 ユーロ

【特徴】 光熱費込み

新しくてモダン

食器、テレビ、iPod 用スピーカー、コーヒーマーカー完備

ラウンジテレビとボードサッカー付き (共有スペース)

ランニングマシン、筋トレのマシーン完備

1 人部屋

インターネット完備

* Studentenwerk

(http://www.studentenwerk.bremen.de/files/main_info/wohnen/wohnen_hb/wohnen_hb.htm)

【特徴】 数カ所にある

すべてドイツ語

各建物でそれぞれ特徴があるので、自分で確認すること。

* Hochschule からの紹介

【特徴】

だいたいホームステイ

WG もある

International Office の担当者に問い合わせると教えてくれる

・ 日常生活

* スーパーマーケット

Lidl、Real、Rewe、Kaiser、Penny、Aldi といったものがある。スーパーマーケットによって、特徴があるので、色々行ってみてお気に入りを探すと面白いかもしれない。

* ドラッグストア

Rossmann、dm、Bundnikowsky といったものがある。自社ブランドの掃除機や炊飯器も売っている。

* 百貨店

Karlstadt、Galeria Kaufhof などがある。ここに行けば、大抵のものはそろそろ。

* その他

Bremen の郊外に IKEA と Ochtum Park という Outlet があり、Semester ticket を使っていくことができる。詳細は

<http://www.ikea.com/de/de/store/brinkum> または

www.ochtum-park.net を参照。

3. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

- 協定校のカリキュラム

大きく分けて3つの授業がある。それは、AWSの授業と留学生用の授業と語学の授業である。AWSの授業は、日本でいう一年生、二年生、四年生用の授業が準備されており、どの学年の授業をとってもよい。

留学生用の授業とは、私たちと同じように、ドイツ外から来た留学生が履修することのできる授業である。これは、英語で実施され、専門の科目を学ぶことができる。

語学の授業は、ドイツ語の他に、英語、フランス語、韓国語、中国語、アラビア語を履修できる。日本の学生には、二つの枠まで無料で履修できる制度になっている。英語を履修する場合には、学校内にある語学センターでレベルチェックを受けに行く必要がある。

- 履修した授業

前期はドイツ語を中心に勉強していたので、ドイツ語と英語と韓国語を履修した。ドイツ語はB1.1を履修した。人数が少し多めだったが、文法の確認と文章作成の練習にはなると思う。英語は、自分の受けたいレベルの授業を受けることはできなかったが、プレゼンテーションをする機会が多かったので、勉強になった。韓国語は、ドイツ語を通してだったため、少し難しかったが、ドイツ語を習う時に用いる文法用語を覚えることができた。

後期は *Unternehmensrechnung* を履修登録した。内容は、ドイツの商法をどのように解釈するかというもの。ドイツ商法を詳しくしらなかったため、途中で挫折したが、会計ででてくる単語をドイツ語で知ることができた。

- 課外活動

ブレーメンでは、大学など教育機関に属している人を対象に、Goethe Institut の受講料を半額にする制度が設けられている。私は、実際に一ヶ月だけ通った。担当する先生にもよるが、一ヶ月で集中的にドイツ語を実際に使う勉強になったと実感している。

場所は Bremen Universität の中にある。詳細は
<http://www.goethe.de/ins/de/ort/bre/ja9556538.htm> を参照。

- 留学の成果

最大の成果は、自分を“広げることができた”ことです。人によって、考えていることは様々です。変えられることもあるし、変えられないこともある。相手のことを尊重したり、議論したりすることは、日本ではなかなか体験できないことだと思います。実際、私も慣れてはいませんが、努力点を見つけることができたことが成果だと思います。

また、ドイツから色々な国や地域に気軽に行くことができ、過去に学んだ歴史の知識を実感することができたり、滞在先での出会いがあったりと、日本に住んでいるだけでは不可能なことがこの歳に体験できたことは将来に大きな影響を与えたいと思います。

4. 帰国準備と帰国後の手続き

- * 日本への小包

ドイツから日本への船便は廃止されていたので、選択肢は SAL 便か航空便の二つの選択肢しかありません。詳しくは、
<http://www.dhl.de/de/paket/pakete-versenden/weltweit-versenden/laenderseiten/japan.html> を参照してください。

ちなみに、小包の中身を書籍だけにすると、重量制限が 2 kg までですが、安く送ることができます。教科書を送りたいときなどは便利かもしれません。

- * 様々な契約などの解除

ドイツでは、契約の解除は 3 ヶ月以上前に行なうことが原則のようです。なので、滞在先の家などの契約は帰国する 3 ヶ月前に退去する旨を伝えなければなりません。そうしないと、帰国してからの家賃も支払わされる危険があります。

また、銀行口座を開いたなら、口座に入っているすべての現金を下し、口座を閉じる手続きが必要です。

あとは、住民登録を解除する必要もあります。登録をした役所で解除する日にちを告げれば、すぐに解除することができます。

5. 商学部学生へのメッセージ (400字～600字)

大学入学当初、ドイツ語を勉強しようと思った理由の一つは、「ドイツ語プラスワン」という授業の存在があったことです。「ドイツ語プラスワン」というのは、普段の授業に加えて、通常よりも週一回多く授業をとれるという特別なものです。私が履修していた際には、ドイツ人の先生が教えてくださっていたので、ネイティブのドイツ語を学ぶ機会となりました。

ドイツ語は確かに、名詞に三種類の性があったり、動詞に変化があったりしますが、ドイツ語の特徴とも言えるべき法則のしっかりした仕組みが存在します。また、単語のほとんどはローマ字読みで読むことができるので、私にとってとても勉強しやすいものでした。

私は大学からドイツ語を始めましたが、ドイツ語を勉強するにつれて、もっと上手になりたいという気持ちが強くなり、今ではブレーメンへの留学という道を選んでいきます。留学では、外国人との接し方や文化などといった、日本とは違った感覚を自分の肌で感じることができます。

みなさんもチャンスがあれば、ぜひ果敢に挑戦してみてください